

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会

令和 8 年度 伝統的工芸品 P Rのための広告出稿業務の委託について【企画競争】

1.公募概要

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会（以下、伝産協会）は、経済産業大臣指定「伝統的工芸品」のPR及び産業振興を図る団体です。

振興の一環として伝統的工芸品の魅力を広く伝え、また「伝統マーク」及びギャラリーショップ「伝統工芸青山スクエア（東京都港区）」の認知度向上を図るため、雑誌媒体に広告（①純広 ②記事広告）を出稿します。その委託事業者を募るための企画公募を以下の内容で実施します。

2.委託期間

R 8 年度中（2026年4月～2027年3月末）

3.委託業務の概要

- ① 純広／媒体選定・広告制作・入稿等業務等
- ② 記事広告／委託期間中に最低 3 回、連載できる媒体の選定・媒体との連絡業務・入稿業務等

4.公募参加の注意

- ①と②を共に提案できること、そして伝産協会から一括して委託できることが望ましい。
 - ①または②、どちらかのみ提案されたい場合は、企画書になぜ片方のみなのか理由を添えること。
- なお公募提案について、予算・露出時期・内容を検討し、全てではなく一部分を採択する可能性もある。また提案内容及びデザイン等の詳細は採択後、伝産協会と協議のうえ修正し最終決定することとする。

5.仕様書① 純広

1. 媒体の選定・出稿プランニング

- ・ 伝統的工芸品に親和性の高い読者層を対象とした雑誌であること。
- ・ 日本国内で発行発売される媒体で、複数の出版社の異なる媒体を組み合わせること。ただし効果を期待できる場合、同一の媒体に（異なる月号に）2 回まで掲載は可とする。
- ・ 2027年 2 月末日までに発売される媒体であること。
- ・ 言語は日本語または英語とする。ただし出稿プランのメインは日本語媒体とし、英語媒体は補足とすること。国外で発行発売される媒体について、アイデアがある場合は補足事項として提案可。
- ・ 「羽田空港」において、別途、インバウンド旅行者向けのデジタルサイネージを出稿中のため、空路・羽田空港等で配布される媒体について提案があれば加えること。

〔補足〕委託決定時は、協議の上、媒体名と出稿回数を決めることとし、具体的な掲載月号は、出版社による特集内容が発表され次第、適宜、伝産協会と協議し最終決定することとする（伝統工芸に親和性の高い特集内容の月号に掲載できることが望ましいため）。

2. デザイン・撮影・入稿業務

- ・ デザイン業務（提案からデータ制作まで一貫して委託）

- ・ 制作に必要な素材の手配（撮影ディレクション、キャッチコピー・ボディコピーの提案等）
- ・ 入稿に必要な業務（リサイズ、送稿等）

〔翻訳業務について〕

英語媒体の提案がある場合、掲載するテキストの英語訳（翻訳業務）を含めて委託する。

〔撮影についての補足〕

- ・ 写真を用いる場合は新規撮影とし、カメラマンの手配、撮影ディレクションを含めて委託する。
- ・ 撮影品は「伝統工芸青山スクエア」において選定すること。
- ・ 撮影場所として伝産協会の会議室を提供できるが本格的な撮影施設ではないため、必要に応じてスタジオ等の利用は任意とする。その場合、想定される費用を見積書に記載すること。
- ・ 任意のスタジオを利用する場合、撮影品はサンプルではなく、展示品（現品）のため、長期の貸出及び宅配便等の輸送による作品の搬出入は原則不可とする。
- ・ 外部スタジオへの搬出入時や撮影時に、商品に破損・汚損が生じた場合は買い取る。また料理の盛り付け等により回復できない使用感が残った場合も買い取り対象とする。

3.納品データの利用権について

納品物（デザインデータ・レタッチ済み写真データ・イラストデータ等）は、協会の二次使用の許可を前提とし、契約期間終了後、協会の判断により別の目的において使用できるものとする。

4.掲載誌の納品

成果物として発行時に見本誌を3部提供すること。納品先は伝産協会（東京都港区赤坂）とする。

6.仕様書② 記事広告

1. 媒体の選定

- ・ 伝統的工芸品に親和性の高い読者層を対象としたメディアであること。
- ・ 委託期間中に最低3回、連載として掲載できること。月号の連続・隔月は不問。
- ・ 伝統マーク（伝統的工芸品のシンボルマーク）を記事内に掲載できること。
- ・ 紙媒体、WEB媒体は問わない。
- ・ 印刷・公開の前に校正確認ができること。
- ・ WEB媒体の場合は、記事公開後にPV数等の読者の反応をレポートで提出すること。
- ・ 日本国内の媒体で、言語は日本語とする。
- ・ 2027年2月末日までに発売・公開される媒体であること。

2. 掲載意図

- ・ 伝統工芸士（従事12年以上の優れた技術を持つ職人の称号）と伝統マークの知名度の向上のため。また「伝統工芸青山スクエア」来店誘致のため。
- ・ 誌上通販など、販売を伴う掲載はしない。
- ・ 紙媒体の場合は、4Cフルカラー1ページを想定。電子版の転載、SNS展開等のオプションがあり、効果的と思われる場合は費用とともに提案すること。
- ・ 地方ロケは想定していない。「伝統工芸青山スクエア」で取り扱いのある伝統工芸士について、編集者または編集部がキャスティングした文化人・芸能人等のセレクトにより、職人の技術・技法と共に、代表作2～3点を紹介すること。なお企画の切り口、撮影品の詳細等は、採択後、伝産協

会とともに協議し決定することとする。

〔撮影についての補足〕

- ・基本的に新規撮影とし、カメラマンの手配、撮影ディレクションを含めて委託する。
- ・撮影場所として伝産協会の会議室を提供できるが本格的な撮影施設ではないため、必要に応じてスタジオ等の利用は任意とする。その場合、想定される費用を見積書に記載すること。
- ・任意のスタジオを利用する場合、撮影品はサンプルではなく、展示品（現品）のため、長期の貸出及び宅配便等の輸送による作品の搬出入は原則不可とする。
- ・外部スタジオへの搬出入時や撮影時に、商品に破損・汚損が生じた場合は買い取る。また料理の盛り付け等により回復できない使用感が残った場合も買い取り対象とする。

3. 納品データの著作権について

純広と同様、二次著作権を伝産協会が所有できることが望ましいが、出版社・編集部との調整を要する場合は委託後に協議して決定する。

4. 掲載誌の納品

紙媒体の場合、成果物として発行時に見本誌を3部提供すること。納品先は伝産協会（東京都港区赤坂）とする。WEB媒体の場合は、PDF化した記事をe-mailで提出すること。

7. 代金の請求・支払い

広告掲載媒体を伝産協会職員が目視し、業務が完了した後、請求書を送付すること。適正な請求書を受理後、受理した月の翌月末までに支払うものとする。

8. 提出書類

※書類は全てA4サイズでの出力を想定し、任意の書式で作成すること。

- ・ **①純広：企画書・媒体情報**
 - ・媒体の選定理由と、見込まれる効果・展開案を記載すること。
 - ・媒体情報は、直近の発行部数を明記すること。※デザイン案の提出は不要だが、写真・イラストの起用等について、イメージがすでにある場合は補足情報としてデザインイメージの掲載を可とする。
- ・ **②記事広告：企画書・媒体情報**
 - ・媒体情報は発行部数やPV数と、類似のタイアップ広告の効果例を明記すること。
 - ・媒体の魅力や、想定される掲載位置（固定か、毎号異なる位置なのか）等、選考に当たり参考となる情報があれば任意で記載すること。
- ・ **見積書（①純広 ②記事広告）※詳細は以下の補足参照**
- ・ **会社概要**
 - 過去に類似の業務の経験がある場合は、可能な範囲でデザインや受託内容を掲載すること。

・ 実施体制図

社外への再委託が生じる場合は、その企業名（住所、責任者名）および再委託する業務内容を明記すること。（個人のカメラマン、ライター等は掲載不要。企業・法人・団体を掲載すること）

【見積書の補足】

- ・ 「①純広」と「②記事広告」の見積書を分けて、2枚提出すること。それぞれ総額と明細を明記すること。ただし、①②を共に投稿することで割引になる等の事情により、分けることが難しい場合は、①②を併せた総額での提出を可とする。
- ・ 明細は以下を分けて記載すること。
 - ・ 媒体費
 - ・ デザイン費
 - ・ 撮影費
 - ・ 送稿費などの想定される手数料
 - ・ 任意の項目（撮影スタジオ費、イラスト費、そのほか、想定される経費）

以上の①～④を「PDF」で、下記アドレスまでE-mailで提出すること。

メールタイトル／ R8年度 雑誌（純広）公募 応募

書類提出提出先メールアドレス／

kikaku@kougei.or.jp

9. 提出期限

2026年 4月 2日（木） 12：00 締切

10. 参加条件

- ・ 今回の業務内容に類似した一連の実績があること。
- ・ 伝統的工芸品のために、出稿媒体に合わせた柔軟な発想で提案できること。
- ・ 国内の法人であること。

11. 応募にあたっての注意事項

- ・ 事前の参加表明は不要。
- ・ 提出物は一切返却しない。
- ・ 提出物に対して、公募主催者側より対価は支払わない。
- ・ 本件に関する問合せ・質問は、以下のメールに送付すること。
- ・ 公募価格、選考結果への問い合わせは受け付けない。

13. 問い合わせ・応募先

kikaku@kougei.or.jp

担当：一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会（企画部 ^かく ^く賀来）